



令和元年 10 月 31 日

岡山に世界の研究者が集結 第 9 回組織障害関連信号分子群に関する国際会議を開催

組織障害関連信号分子群 (DAMPs) とは、我々の体の細胞が感染、外傷や強いストレスを受けた時、細胞自身から細胞外へ放出される物質の中で細胞外空間において強い活性を発揮する物質群を総称的に指して呼ぶ言葉です。DAMPs は最近 20 年くらいの間に、病気の成り立ちやその状態を理解するのに不可欠の要素となってきました。また、病気の新しい治療法開発の観点からも注目されるようになっていきます。具体的な関連疾患として、脳卒中、脳・脊髄外傷、てんかん、パーキンソン病、アルツハイマー病、神経因性疼痛、動脈硬化症、肝炎、インフルエンザ肺炎、関節炎、抗がん剤毒性、がんの成長と転移などを含み、その範囲は研究が進むにしたがってさらに広がっています。今回の会議では、世界の研究者が DAMPs 研究の新しい成果を発表することによって難治性の病気のメカニズムをより深く理解し、それに基づいた新しい薬開発の方向性が多面的に議論されることが強く期待されます。

これまで、本国際会議は欧米で 2 年ごとに開催されてきました。第 9 回目の今回、岡山大学大学院医歯薬総合研究科薬理学分野の西堀正洋教授が会長を務め、岡山大学鹿田キャンパス J ホールと附属施設で、11 月 6～8 日の 3 日間開催されます。アジア地区で本会議の開催は初めてです。世界 12 カ国から、本分野で活躍する主要な研究者を網羅した約 175 人の参加が予定されています。会議期間中には、備前神楽の披露や岡山城内でのパーティも予定されており、参加者には学問研究に加えて岡山の文化と風土に接してもらえるよう、工夫されています。

岡山大学は、SDGs を推進する研究大学として最先端の研究成果を世界に発信しています。今回、世界の著明な研究者が岡山へ集まりさらにパートナーシップを築いてゆきます。最先端の情報を共有することで若手人材の育成を図るとともに、岡山が国際的な教育研究拠点となることを目指しています。ぜひ当日の取材方よろしく願いいたします。

<概要>

1. 名称：9th International DAMPs and Alarmins Symposium (9th iDEAs)
2. 日時：2019 年 11 月 6 日 (水) ～8 日 (金)
3. 場所：岡山大学鹿田キャンパス J ホール (岡山市北区鹿田町 2-5-1)
4. 主催：第 9 回国際 DAMPs と Alarmins シンポジウム組織委員会
5. 後援：公益財団法人 岡山医学振興会、公益社団法人 日本薬理学会、国立大学法人 岡山大学
6. 参加予定：12 カ国 約 175 人
7. その他：会議の HP はこちらからご覧いただけます。

<https://www.med-gakkai.org/9ideas/>

<お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学研究科薬理学分野
教授 西堀 正洋
(電話) 086-235-7140